

## ベーシックインカムって何だろう？

この冊子がみんなで考える「きっかけ」になれば良いと思います。  
これは議論の材料です。あなたのご意見をお聞かせください。

ベーシックインカムを考える市民の会

Citizen's Association for Basic Income

ホームページ <https://www.basic-income.info/>

2019年7月21日

## ベーシックインカムって何？

【全国民へ一律に、生きていくための基本的な所得が分配される制度です】

ベーシックインカムとは、  
全国民へ一律に同額のお金を、生きていくための  
基本的な所得として分配する(支払う)制度です。

制度の一例です

(どのような制度が良いかをこれからみんなで考えましょう)

例えば、全国民へ**毎月1人7万円**が支払われます。

- 受給資格の条件はありません。国民全員へ分配されます。
- 「家族に」ではありません。「個人」一人一人に支払われます。
- 受けたお金は個人の意思で自由に使えます。
- 受給や使用に関し、何の制約もありません。

## ベーシックインカムって、いくらかかるの？

CABI

【日本全体で年間100兆円＝国家予算と同程度の金額が必要となります】

---

仮に国民全員へ毎月1人7万円を分配するとして、  
日本全体で1年間で、  
 $7\text{万円} \times 12\text{ヶ月} \times 1\text{億}3\text{千万人} = 109\text{兆円}$   
が必要となります。

これはほぼ、現在の1年間の国家予算(100兆円)に匹敵する金額です。

さて、この金額をどうやって捻出するか？  
きっと何か方法はあるはずです。

→ 財源に関することは、P3～5、P32～35、P42～45  
にて触れています。

---

## 議論の「たたき台」としての案のイメージ①

CABI

【検討、議論の出発点としての一つの目安となれば幸いです】

---

冒頭に恐縮ですが、議論の「たたき台」としての案のイメージです。

ベーシックインカムの制度導入後、国民全員へ、

- 最初の2年間は、毎月1人1万円を分配し、
- 次の2年間は、毎月1人2万円を分配し、
  - … 7万円になるまで、2年ごとに1万円ずつ増やしていきます。

7万円の分配額に達するのに12年を掛けます。

【財源の問題も検討していく必要があります】

---

毎月1人7万円だと必要な財源は年間109兆円ですが、1人1万円の場合は年間15兆円で済みます。

現在の日本のマネーストック(市中に存在する預金や現金などの計)は約1,000兆円です。15兆円とはその1.5%相当です。

年間1.5%ずつのマネーであれば、(当面は)増税なしで新規国債の発行だけでまかなうなどの柔軟性が生まれてはこないでしょうか。そして実際の経済の状況(デフレの解消具合、あるいは悪性インフレの懸念など)を見ながら、漸次、次の手を考える時間的な余裕も出てきます。

---

【走りながら考える、見定めるといふことも必要かもしれません】

---

12年間の中で実際の社会の状況を見ながら、制度設計を調整したり、導入を加速させたり、減速させたり、既存の他の制度と緩やかに折合いを付けていったり、などの方法の検討ができます。

- 経済や、金融、財政への跳ね返り
- 既存の社会福祉制度との調整
- 人の生き方、働き方や社会のあり方への影響

影響が広範囲に及び、また過去に例の無い制度ですので、一つ一つを見定めながら焦らずに軌道に乗せていく方が良い結果につながるのかもしれない。

---

## ベーシックインカムをもらうと人はどう変わるのだろう？

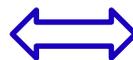
CABI

【ベーシックインカムを通して個人の生き方がどう変わるか想像してみましょう】

---

ベーシックインカムをもらうと、

人は怠惰になるの？



人は生き生きと活動  
するようになるの？

どちらになるのでしょうか。この差は大きいです。

人が怠惰になるのならベーシックインカムなんて無い方が  
良いです。

人が生き生きとするのなら何とか実現したいと思います。

## ベーシックインカムは「魔法の杖」?

【ベーシックインカムを生かすも殺すも私たち次第です】

ベーシックインカムは私たちの生活、社会の多くのところに影響を与えます。

例えば・・・

働き方改革	経済成長	生存権の保障
社会参加	社会福祉	ジェンダー
消費	企業	個人と市民社会
所得	貨幣	雇用
年金、福祉制度	教育、子育て	生涯学習

ベーシックインカムは、うまく使えば私たちの生活や社会の「魔法の杖」にもなります。どう使うかは私たち次第です。

→ 次ページ以降に項目ごとのイメージを書きます。

【ベーシックインカムは労働時間を減らせます】

---

ベーシックインカムがあると働き方は変わるの？

- (基本的な所得が保証されているので) 労働条件の悪い企業にしがみつく必要性が薄まるのではないのでしょうか。
- 残業代を得るための勤務も必要性が減るのではないのでしょうか。
- 世の中の会社自体の勤務条件も改善します。(そうしなければ会社も生き残っていきません)

会社で働く時間を減らすことができます。

その分、個人の生活や成長のために使える時間を増やすことができます。

【ベーシックインカムは働き方の多様性を育みます】

---

ベーシックインカムがあると働き方は変わるの？

- （基本的な所得が保証されているので）会社に頼らずとも、自分が望む仕事や生き方に何度でも挑戦できます。

雇用の流動化（転職の機会の増加）が生まれ、個人が働きたい会社を選択できるようになります。

自分で起業したり、NPOで働いたり、芸術やスポーツに打ち込んだり …… 働き方や生き方の多様性が生まれます。

---

【ベーシックインカムは経済成長を阻害しません】

---

ベーシックインカムと経済成長は両立するの？

- ベーシックインカムは人に贅沢や怠惰を推奨するものではありません。
- 人が創造的に生き生きと生きることがより良い社会を作ります。
- 人は明日の憂い(基本的な食、住の心配)がなくなると、さらに次を目指して努力するものではないでしょうか。

ベーシックインカム自体が経済成長の阻害要因となるとは思いません。

自由な企業活動が可能であることは今と変わりありません。

---

【ベーシックインカムは格差の拡大しない経済成長を目指します】

---

これからの社会にふさわしい経済成長の姿は？

- ▶ 高度経済成長期を経験し、既に日本は一定のレベルでの食、住を広く国民全般に供給できる力を持っています。
- ▶ その力を持続させていきましょう。

経済成長しても格差が拡大するような社会では、人と人との関係が劣化し、結局、経済成長も長続きしないのではないのでしょうか。

格差の拡大を防ぎ、経済成長を持続させていくのがベーシックインカムです。

---

【ベーシックインカムは一人一人が生き生きと生きる社会を目指します】

---

ベーシックインカムは何を一番目指しているの？

➤ ベーシックインカムは、結果の平等を目指すものではありません。

人は食、住において明日への憂いを抱かずに済むようになってこそ、安心して「明日への希望」を描けるようになるのではないのでしょうか。

ベーシックインカムは、国民一人一人の生存権としての「基本的な食、住をまかなう所得」の保障を意図しています。

---

【お金は人と人がつながる社会の中での「信用」を一つの形にしたものです】

---

お金が無いと社会参加できないの？

- 人は、人との関わりが無ければ、生き生きとは生きていけないものではないでしょうか。
- 明日の食事を維持していくのも難しいです。

私たちがこの社会の中で日々多くの人と互いに関わりを持つ際に、あいだを取り持つのが「信用」です。その「信用」を一つの姿ある形として用意し、日常の生活の中で使えるようにしたものが「お金」です。

【人はお金を使うことで、社会に対する意思表示ができます】

---

お金を得ると何ができるの？

- 自分で考えて行う日常の消費の一つ一つが、社会に対する自分の意思表示だと思えます。
- これが好き・欲しい、これは嫌い・欲しくないという一つ一つが立派な意思表示であり、消費はその実現です。
- お金があると自分への投資や他者への投資も可能となります。

消費や投資は社会への自分の意思表示であり、それは社会参加への第一歩です。

ベーシックインカムは、人が社会に参加するための一つの重要な切符を提供します。

---

【全ての人の意思表示で社会が創られます】

---

誰が社会を創っていくの？

- ベーシックインカムは全ての人に、「意思表示」という、人や社会と関わる力を提供します。
- 全ての人々が日常の消費や投資を通して、あるいは自分の生き方の多様性を通して、社会を創っていきます。

お金を多く持った一部の投資家や金融機関、あるいは権限を持った国や地方自治体だけが、世の中の流れを作るのではありません。

社会に住む全ての人々が社会を創っていくのです。

---

【ベーシックインカムは社会福祉制度を変革します】

---

社会福祉の姿が変わるの？

- これまでの社会福祉制度は複雑な審査もあり、実は多くの困窮者に支援が届いていないという事態も起きていました。
- 社会福祉を受ける側にも心理的な葛藤が生じる場合もありました。

何の審査もなく国民全員へ一律の金額を支払うことで、皆が安心してそれを受け取れるということが重要ではないでしょうか。

ベーシックインカムは究極の社会福祉を目指します。

【ベーシックインカムは個人の自立を支援します】

---

社会福祉と個人の自立は両立するの？

- これまでの生活保護制度は所得が増えると保護が打ち切られることから、就業意欲を減退させるという一面も持っていました。

ベーシックインカムは、就業して所得が増えたとしても支給が打ち切られることはありません。

ベーシックインカムが就業意欲を削ぐことはなく、生活困窮者の固定化を招くことはありません。

【ベーシックインカムは社会福祉に関わる行政の姿も変えます】

---

社会福祉に関わる行政の姿も変わるの？

- これまで社会福祉の複雑な審査や、支給後の継続調査などにも行政の多くの時間とコストが掛かっていたものと思われます。

ベーシックインカムは行政の時間とコストを改善します。

【社会の旧習は絶対的なものではありません】

---

女性の役割、男性の役割って誰が決めたの？

- 今までの経済社会では、家庭内での無給の家事や育児は主に女性が担ってきました。
- 社会に出ても女性の給与水準は統計的には男性よりも低いです。

女性は経済社会の補完的役割を担うものだというのは過去の一時の時代的な発想です。そろそろ止めるべき時が来ているのではないのでしょうか。

その発想を止めるのはまずは男性の側からです。

【ベーシックインカムは個人の生き方を後押しします】

---

ベーシックインカムはなぜ個人に配られるの？

➤ ベーシックインカムは家族単位ではなく、個人ごとに支給されます。

家族、親族というつながりの中に個人が埋もれてしまうことなく、特に女性も一人の人間として、自分で判断して(自分の好みを基に)、お金を遣い、社会との関係を築いていく、その力を持つことが保障される社会、そういう社会に憧れませんか。

【ベーシックインカムは生き方の多様性を後押しします】

---

ベーシックインカムは個人を応援するの？

➤ ベーシックインカムはその支給に特段の条件を付けません。

ベーシックインカムは個人の生き方には踏み込みません。

結果としてベーシックインカムは、多様なジェンダーも含め、個人の生き方の多様性を応援します。

## 消費①

【安心してお金を遣うことは無駄遣いではありません】

---

ベーシックインカムは人に無駄遣いをさせるの？

- ベーシックインカムが分配するのは、「基本的な食、住をまかなう所得」としての金額です。
- それを上手に遣ってください。

お金は人と社会との関係を取り持つ仲人のようなものではないでしょうか。必要な買い物、良い買い物とは、人と社会を良い縁で結んでいるようなものです。

生き生きと生きるために消費は必要で大事な活動です。

---

## 消費②

【将来の所得の不安が薄まるからこそ、今安心して消費できます】

---

ベーシックインカムがあると消費はどうなるの？

- ▶ ベーシックインカムは将来の所得の不安を薄めます。
- ▶ だから今、安心してお金を遣えます。

安定した消費は、社会を経済を安定させる潤滑油です。

ベーシックインカムは将来の所得の不安を薄めるからこそ、今、そして将来に渡って継続して安定した消費を生みます。

【ベーシックインカムはデフレの解消に役立ちます】

---

ベーシックインカムは企業にとっても良いことがあるの？

- ベーシックインカムが国民全員に行き渡ることで、国内での安定した消費が期待されます。

今現在不足している日本国内の需要が喚起されます。(デフレ解消へ向けた効果が期待されます)

安定した消費者の存在は企業も元気にします。

【ベーシックインカムは企業も楽にします】

---

ベーシックインカムはどうして企業を楽にすると言えるの？

- 終身雇用、企業年金、新卒者のゼロからの社員教育、社宅提供など、実は今、企業は福利厚生、人材育成といった面でも幅広く社会的役割を担っています。(この一部は日本特有の制度です)
- この変化の激しい時代、どこまでを企業に期待し負担してもらうのが良いのかは、社会全体で考える必要があります。
- 雇用の流動化やベーシックインカムによる生涯に渡っての所得保障があると、企業は一部の過度の負担から解放されます。

ベーシックインカムは、変化の激しい時代の企業活動をも後押しします。

---

【ベーシックインカムは一人の個人も逃しません】

---

ベーシックインカムは誰のための制度なの？

- ベーシックインカムは一人一人の所属、資格、経歴、年齢、性別、扶養者の有無、趣味趣向、地域、職業、政治信条など一切関係なく、同じ金額で国民全員へ分配されます。

何れの組織体（学校や企業など）へも属していない個人も等しく扱われます。

ベーシックインカムはまさに個人に直接向き合う制度と言えます。

【ベーシックインカムは市民社会を育てます】

---

ベーシックインカムはどのような社会を目指すの？

➤ ベーシックインカムが目指す社会は、これから私たち自身で描いていくものです。

国民全員の基本的な所得が保障される中で、人がお互いの多様性を認め合いながら自ら意思表示して社会参加し創っていく社会、それは何の組織体が優位に立つこともない、個人を基盤とする市民社会です。

例えばそのような社会が創れると良いと思います。

【ベーシックインカムは新しい所得の種類です】

---

所得はどこから来るの？

- 一つには働いて得る所得（賃金）があります。
- もともと有していた所得を投資して得る所得（配当）や、貸して得る所得（利子）があります。
- 親などから譲り受けて得た所得（遺産）もあります。

ベーシックインカムは新しい所得の種類です。

- 生まれながらにして、誰もが獲得できる所得です。  
（生存権の保障）
- 死ぬまで保障された所得です。（将来への安心）

【ベーシックインカムは所得の進化形です】

---

ベーシックインカムによる所得の特徴は？

- 賃金労働の機会や親からの遺産の有無に関係なく、将来にわたって全員に等しく分配されます。
- だから生存権の保障であり、将来への安心となります。

組織体（企業など）に属して労働していない人や、投資や貸付けをする所得を有していない人も、区別されることなく一律に保障された所得です。

文明的で、人道的にも進化した所得の形態である  
と考えることはできないでしょうか。

【人は怠け者ではないと信じる所からベーシックインカムは始ります】

---

無償でもらえる所得は甘えを生むのでは？

- 遊んでいてもお金がもらえるのであれば、人は新しいことに挑戦しなくなるかもしれません。
- そうなると個人も社会も墮落、衰退します。

ベーシックインカムを良質の所得として永続できるか、あるいは墮落した所得として社会の衰退を招くかは、私たち次第です。

人はそんなに怠け者ではないと信じています。

【ベーシックインカムを超えた所得についても工夫の余地があります】

---

ベーシックインカムを超えた従来からの所得はどうなるの？

➤ その制度設計もこれからの私たち次第です。

同一労働、同一賃金に関して。

(ジェンダーや外国人労働者などの視点も含んで)

大企業と中小企業の所得格差に関して。

高額所得職種とそうでない職種との格差に関して。

家事や育児などの無賃労働やNPOでの活動(所得を度外視してでも取り組んできた社会活動)なども、もっと評価され、もっと人が集まる社会……

---

【貨幣は社会の変化、進歩のために大事な役割を演じています】

---

貨幣の役割とは何だろうか？

- 人と人が関係を結ぶ(財やサービスを交換する)際の橋渡しをしてくれるのが貨幣です。
- 現代の日本ではその貨幣の価値は国が保障してくれています。
- 人と人との交わり(日常生活)の中で貨幣の存在は不可欠です。

特に社会が進歩、変化していく場面では、必要とされる貨幣の量は増えます。

(人と人との新たな交わりが増えるからです)

例えば以前は家族、親族、地域で支えていた子育てや老人介護(主に女性が家庭内に取り込んで行っていた)も、これからは社会的な機関(保育所や老人介護施設など)を活用する場面がより増えていくと思われます。

→ こうした変化において正に新たに貨幣を必要としていきます。

---

【世の中の進化、発展のためには一定の継続的な貨幣量の増加は必要です】

---

これからの世の中では、ますます貨幣は必要となってくるの？

- 新しいAI技術が社会や我々の日常生活に大きく入り込んでいきます。(技術進歩)
- ジェンダーを含め多様性を受け入れる社会への移行、女性の社会進出などが進みます。(生活スタイルの変化、多様化)
- 環境問題への対応、少子高齢化や外国人労働者の増加なども新しい技術や社会の変化をもたらします。(進歩、変化)

技術の進歩や社会の変化を実現させ、我々の生活に取込んでいくためには、今後とも貨幣の量の一定の(合理的な)増加は必要です。

【技術進歩と社会改善が貨幣の増加の裏付けです】

---

貨幣の量を増やして悪性インフレにはならないの？

- 悪性インフレになると貨幣の価値を誰も信用しなくなるため人と人との関係が壊れます(財やサービスの交換が出来なくなります)。つまり社会が壊れます。
- そうならないために節度のある貨幣量の増加が求められます。
- その節度とは、「現実に行き起きている技術進歩や社会改善の範囲内で」ということを意味します。

技術進歩や社会改善は実際に社会全体で生み出す価値を増やします。その分、貨幣も増やせます。

⇕ 両者は持ちつ持たれつです。

貨幣の増加は技術進歩や社会改善を支えます。

---

【ベーシックインカムは社会の成果を等しく国民全員に分配します】

---

増えた貨幣は誰のものなの？

- お金を多く持った一部の投資家や金融機関、あるいは権限を持った国や地方自治体だけが、世の中の流れを作るではありません。(P15参照)
- 社会に住む全ての人々が社会を創っていくのです。(P15参照)

増えた貨幣とは技術進歩や社会改善の成果です。その成果を国民全員の所得として等しく取込む(国民全員に等しく分配する)、それがベーシックインカムです。

## 雇用①

【ベーシックインカムは完全雇用を作り出します】

---

ベーシックインカムは雇用のあり方にどう影響を与えるの？

- ベーシックインカムは終身雇用の意義を薄れさせます。
  - 個人は転職活動中も基本的な食、住をまかなう所得を保障されます。(ベーシックインカムがセーフティネットとなります)
  - 会社はビジネス環境の変化に応じて雇用を変化させやすくなります。(求める人材、求める人数を変化させやすくなります)
- 人が転職しやすい社会環境(生涯学習の機会、転職斡旋の充実など)を用意することも併せて重要です。

ベーシックインカムをセーフティネットとして有効に機能させることで、社会全体としては実質的な「完全雇用」状態を創り出せるのではないのでしょうか。

【ベーシックインカムはAI革命への対抗手段です】

---

AIは雇用をのあり方を変えるの？

- 汎用型AIの導入が進むと人間労働は大きく奪われる可能性があります。(AI革命)
- それは意外と近い将来(10年以内程度)に起きるかもしれません。

人の生き方、働き方が大きく影響を受けますが、変化のスピードが速すぎてなかなか先が読めません。

その時のためにもベーシックインカムとワークシェアリングを理解し準備しておくことは有効だと思います。

【人は一つの組織体にはもう縛られません】

---

これからの雇用(働き方)のイメージは？

- 一つの会社での終身雇用が崩れることが予想されます。
- AI革命により、ワークシェアリングが進むことが予想されます。
- それらの動きをベーシックインカムが下支えします。

その時人は同時に複数の組織体に所属し、仕事をするというようなことも起きてくるかもしれません。

- 会社(複数の会社)
- NPO、社会活動を行う団体
- 地域の共同体、サークル
- 同一の趣味趣向、研究分野、信条などに基づく団体
- 海外を活動基盤とする団体 など

【既存の年金、福祉制度からのスムーズな移行も必要です】

---

従来の年金、福祉制度はどうなるの？

- 日本の年金制度はその存続が心許ない状況にあると言われてい  
ます。
- 福祉制度もまだまだ改善の余地があります。
- ベーシックインカム導入後は、既存の年金制度や福祉制度との  
折合いをどう付けていくか、考えていく必要があります。

既受給者は大きな変更を嫌うかもしれません。

年金については現役世代のこれまでの納付分との  
折合いもつけていく必要があります。

【ベーシックインカムを教育、子育てに有効活用する環境や仕組みが必要です】

---

教育、子育てはどのようなの？

➤ 乳幼児、就学児童、未成年者もベーシックインカムの対象です。

保護者と社会が連携して教育、子育てができる環境や仕組みを作っていかなければ、子どもたちへも所得を保障した意味が半減します。

【生涯学習がベーシックインカムを支えます】

---

企業内教育ではない生涯学習の受け皿は？

- 社会、個人、民間教育会社などが皆で工夫していくことが大事です。

雇用の流動化、AI革命、個人の社会参加、多様性の受容といった「始る変化」に付いていくためにも私たちに生涯学習が必要です。

ベーシックインカムは生涯学習に取り組む余裕を人に与え、一方、生涯学習はベーシックインカムの社会を下支えします。

---

## ベーシックインカムの財源をどうするか

CABI

【109兆円の分配の原資を探しましょう】

---

財政や金融に関するこれまでの考え方を大きく変えていく必要があります。

いくつかの可能性の組み合わせで対応していくのが良いのではないのでしょうか。

例えば・・・添付の【可能性1】、【可能性2】、【可能性3】の組み合わせなどです。

P3の議論の「たたき台」としての案のイメージもご参照ください。

## 【可能性1】

---

既存の財政予算の一部を廃止してベーシックインカムの財源へ回す案。（以下は例示です）

1. 老齢基礎年金・国民年金 20兆円
2. 生活保護の生活扶助費 1兆円
3. 雇用保険の失業保険費 1兆円
4. 公共事業費、中小企業対策費、農業予算、民生費、地方交付税交付金などからの削減分 仮に15兆円

ベーシックインカムに置き換わります。

所得対策的な施策も含まれており、その分はベーシックインカムへ置き換えるという案。

上記2 生活保護の中でも医療扶助や介護扶助など現物給付はそのまま残すとして、現金給付部分をベーシックインカムに置き換えると1兆円となります。

上記4 15兆円という数値は仮置きです。実際には各項目の内容の精査が必要です。

---

既存税目を増税し、あるいは新たな税目を新設することでベーシックインカムの財源とする案。（以下は例示です）

- |                  |      |              |
|------------------|------|--------------|
| 1. 消費税 10%→15%   | 11兆円 | } 既存税目の税率アップ |
| 2. 法人税 23.4%→30% | 3兆円  |              |

3. 金融資産税 30兆円       税目の新設

上記3 2017/6末時点での家計の金融資産 1832兆円＋企業の金融資産 1166兆円 = 2998兆円 …… これに仮に税率1%として税収は30兆円。

これは金融資産に課税することでそれが取り崩され消費に回るという経済活性化へ向けたインセンティブも期待した案となります。

## 1. 国債の発行

- 日銀による国債買取り(間接的財政ファイナンス)
- 場合によっては永久債とする案など

## 2. 政府紙幣の発行



上記はいずれも「ヘリコプターマネー」です。長期デフレから抜け出せない現在の日本においては、財政政策としても有効なものではないでしょうか。

- 適正な「需要」を創出しなければ、健全な社会や経済は維持できません。
  - 人が、社会が、生き生きとしてきません。
- 一方で2%程度のインフレターゲットを設け、インフレ率がそれを超えないように金融政策、財政政策を用いてコントロールする必要があります。